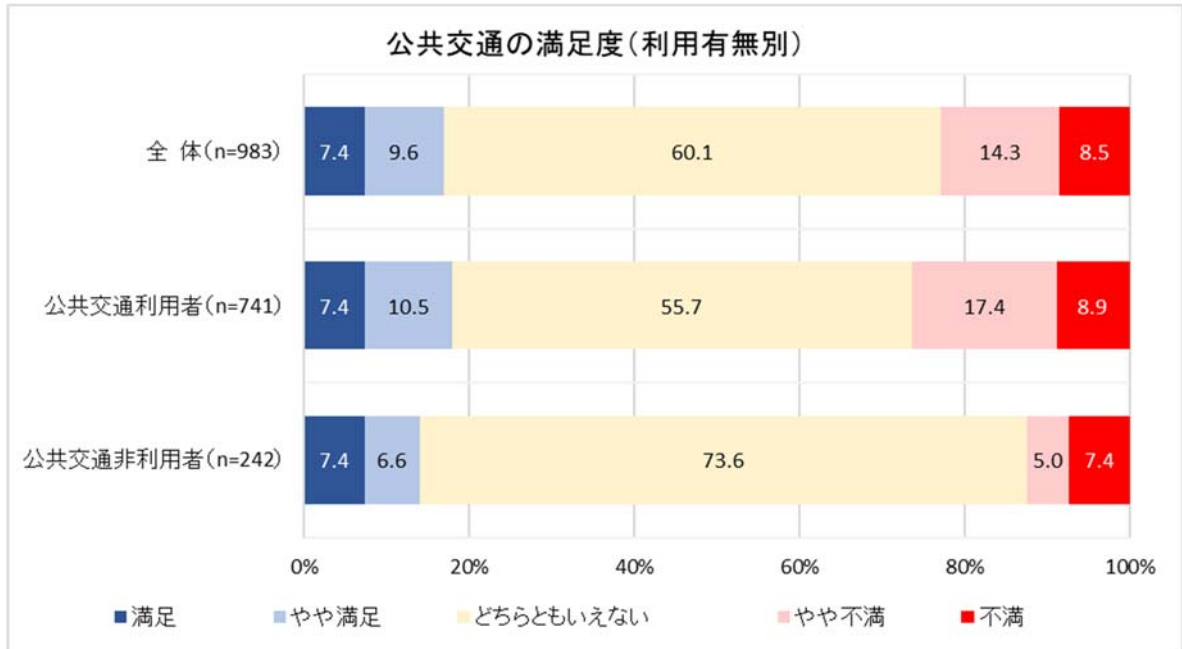


■公共交通の満足度について

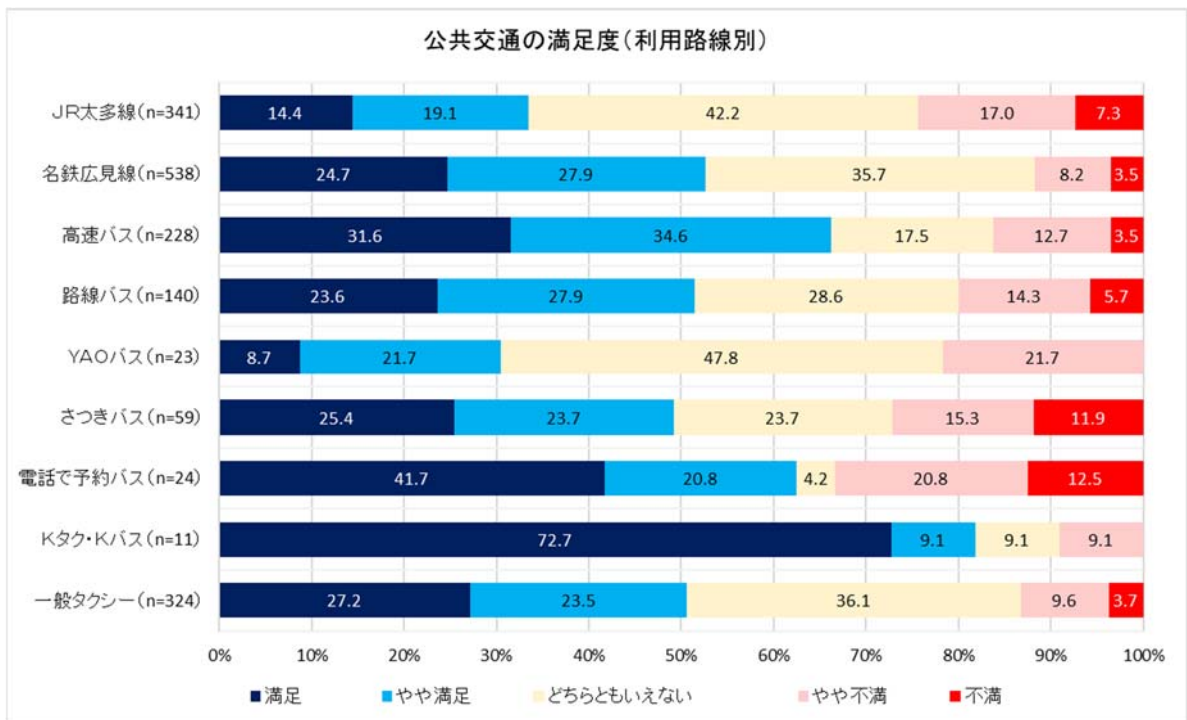
問 40 現在の公共交通手段別の満足度（利用有無別）

- ・市内公共交通の総合的な満足度（無回答を除く）は、非利用者を含む市民全体で満足（満足＋やや満足）約 17%に対して不満（やや不満＋不満）約 23%と、不満が満足を上回っている。



問 40 現在の公共交通手段別の満足度（利用路線別）

- ・市内公共交通の総合的な満足度（無回答を除く）について、利用者を対象とした路線別集計結果からみると、各公共交通手段とも満足（満足＋やや満足）が不満（やや不満＋不満）を上回っており、中でもKタク・Kバス、高速バスの満足割合が高い。



課題③ 公共交通の利用のしやすさ、わかりやすさを高める各種利用促進施策の展開

- ・市内公共交通の総合的な満足度（無回答を除く）をみると、非利用者を含む市民全体では、満足（満足＋やや満足）約17%に対して不満（やや不満＋不満）約23%と、不満が満足を上回っている。利用者を対象とした路線別集計では、各公共交通手段とも満足（満足＋やや満足）が不満（やや不満＋不満）を上回っており、中でもKタク・Kバス、高速バスの満足割合が高く、**市内公共交通の総合的な満足度は、非利用者を含む市民全体では不満が満足を上回り、利用者を対象とした路線別集計では各公共交通手段とも満足が不満を上回っている。**
- ・各公共交通手段の今後の利用意向をみると、「普段の外出の中で利用する必要がない」または「どのような条件であっても利用しない」とする市民が約74～92%を占める。一方、「利用可能な条件が整った場合は利用したい」とする市民が、JR太多線約17%、名鉄広見線約14%、高速バス約23%、路線バス約22%、YAOバス約8%、さつきバス約27%、電話で予約バス約23%、Kバス・Kタク約16%、一般タクシー約20%存在しており、**公共交通の今後の利用意向からは潜在需要の存在が確認された。**
- ・これら利用意向者が利用可能となる条件として、可見市が運営主体となるさつきバスや電話で予約バスでは、「自宅や目的地などから最寄りバス停まで近ければ」、「運行本数が多ければ」といった運行に係る基本項目に加え、「鉄道や他のバス路線との乗り継ぎ時間が合えば」、「公共交通の情報・案内がわかりやすければ」、「予約方法がわかれば・わかりやすければ」といった**運行を支える情報・案内の提供など、わかりやすさや利用のしやすさに関する項目の改善が挙げられている。**
- ・市民が路線バスやコミュニティバスで行きたいまたは行ってほしい市内施設をみると、既存公共交通手段でのアクセスが可能な「パティオ可見（ヨシヅヤ）」、「可見市文化創造センター」、「バロー」、「市役所」、「可見とうのう病院」が上位に挙げられている。
- ・障がい者団体等へのヒアリングでは、**バリアフリー対応や利用しやすい待合環境の充実とともに、わかりやすい情報・案内の提供や利用体験の実施等が求められている。**
- ・以上より、市内公共交通の総合的な満足度は、非利用者を含む市民全体では不満が満足を上回るものの、利用者を対象とした路線別集計結果では各公共交通手段とも満足が不満を上回ることから、現行利用者の利便性を確保しつつ、潜在需要者（非利用者のうち今後利用する意向がある方）が利用可能となる条件として挙げられる**公共交通の運行や乗継に関する情報・案内の提供等、各種利用促進施策を展開することで公共交通の利用のしやすさ、わかりやすさを高めることが課題**である。

図 公共交通の現在の満足度（市民アンケート、利用有無別集計）

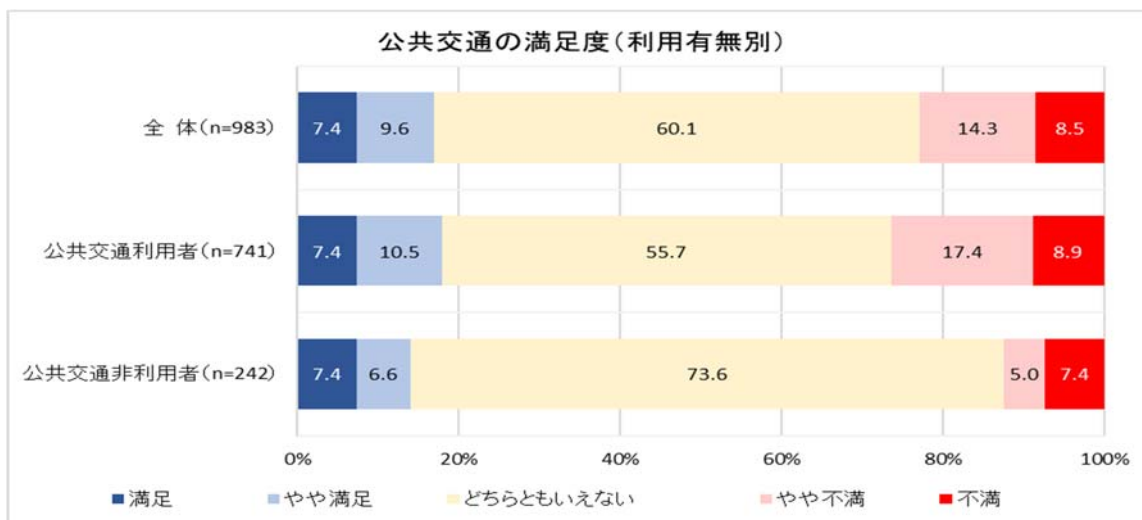


図 公共交通の現在の満足度（市民アンケート、利用路線別集計）

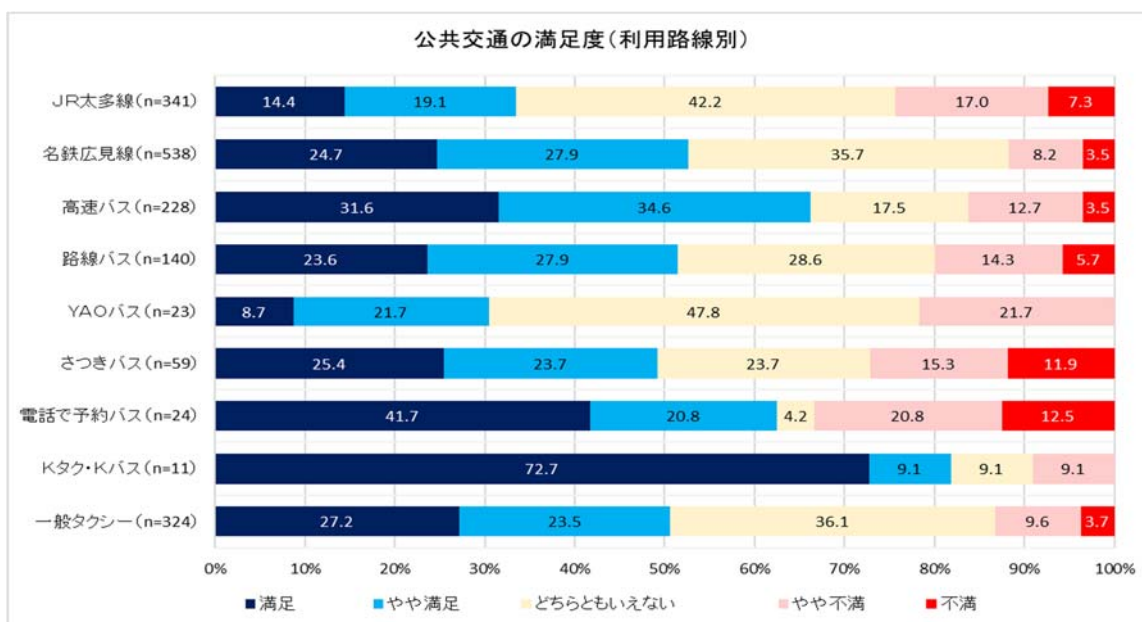


図 公共交通の今後の利用意向（市民アンケート、現在の利用路線別集計）

